



エンサイス スナップショットデータ (薬価基準ベース)

2021年度 (2021年4月～2022年3月)

本レポートは、エンサイスが収集した医療用医薬品に関する情報を基礎としてエンサイスリサーチセンターで加工、編集又は推計を行ったものであり、エンサイスは本情報の正確性、網羅性、その他本レポートが一定の内容や品質を備えることを保証するものではありません。

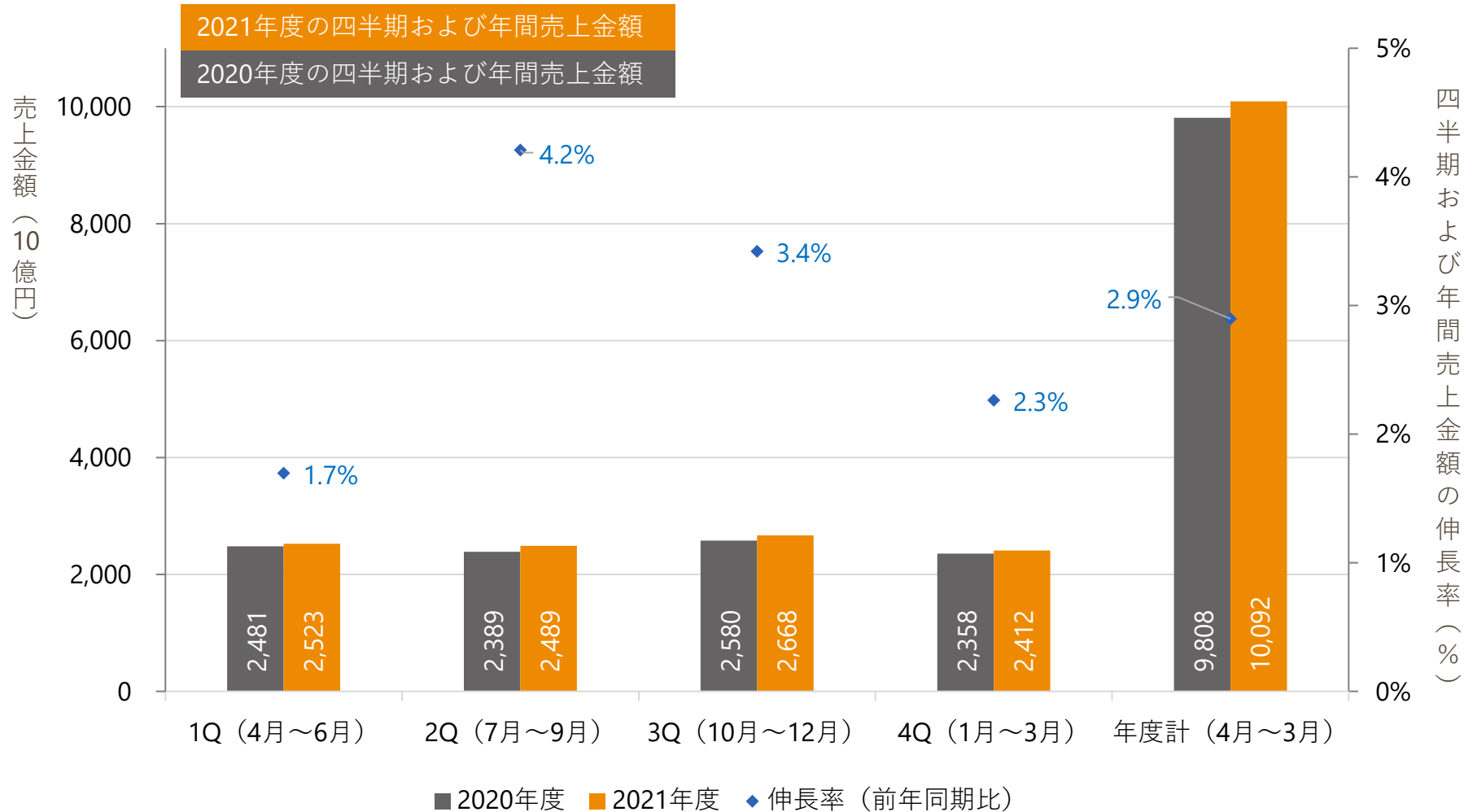
Encise | Research Center

Monitoring Pharmaceutical Industry for the Society

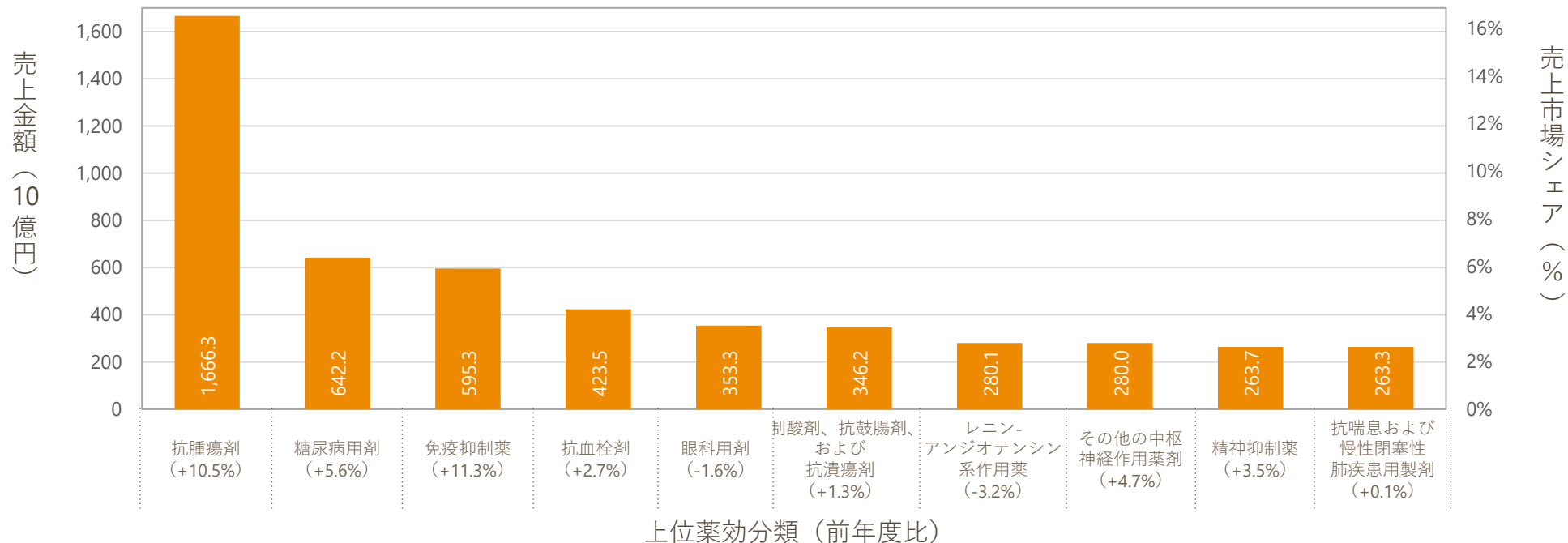
Copyright © 2022 Encise Inc. All Rights Reserved.

FOR THE NEXT GENERATION. FOR THE PATIENTS.

2021年度医療用医薬品市場（四半期別実績および年間合計）



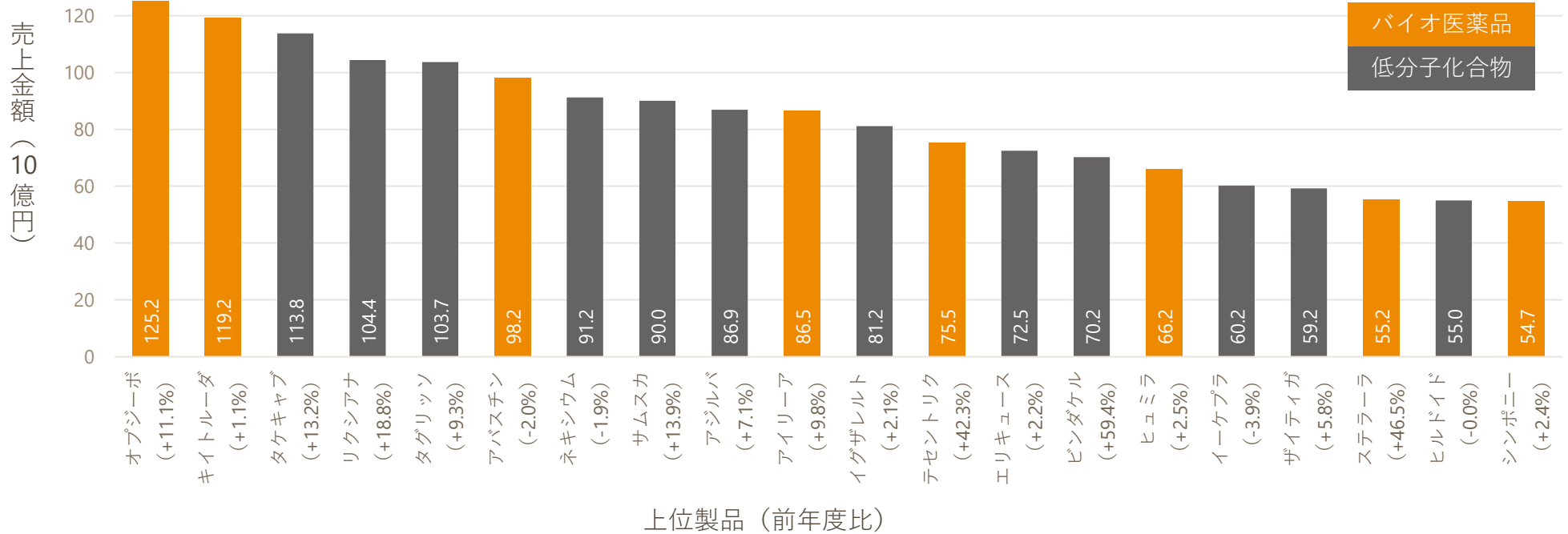
医療用医薬品売上上位10薬効分類*



*新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連薬および再生医療等製品等は考慮しておりません。

- 上位10薬効分類の総売上高は5兆1,138億円 (前年度比5.5%増)、医療用医薬品総売上高の50.7%を占めている。
- 抗腫瘍剤は、医療用医薬品総売上高の16.5%を占め、成長し続けている (前年度比10.5%増)。抗腫瘍剤市場の成長に寄与した主な製品には、テセントリク (売上高755億円、前年度比42.3%増)、オプジーボ (売上高1,252億円、前年度比11.1%増) といった既存薬に加え、ダラキューロ (売上高250億円)、ポライビー (102億円) といった新薬が挙げられる。
- 抗腫瘍剤における、プロテインキナーゼ阻害薬とモノクローナル抗体を合わせた市場占有率は75.7%、前年度比13.5%増の成長がみられた。一方、代謝拮抗剤、植物由来抗腫瘍剤、プラチナ製剤、および抗腫瘍性抗生物質製剤の市場は縮小し、総売上高は前年度比8.9%減の1,947億円であった。
- 糖尿病用剤は、売上高および前年度比において抗腫瘍剤に次いで成長がみられた領域であり、売上高は前年度比5.6%増の6,422億円であった。この成長は、主にSGLT-2阻害剤 (売上高1,950億円、前年度比23.5%増) およびGLP-1作動薬 (売上高694億円、前年度比22.1%増) が牽引している。DPP-IV阻害剤は、糖尿病用剤における市場シェアを37.9%とし、最大占有率を維持しているが、売上高は前年度比4.6%減の2,437億円であった。

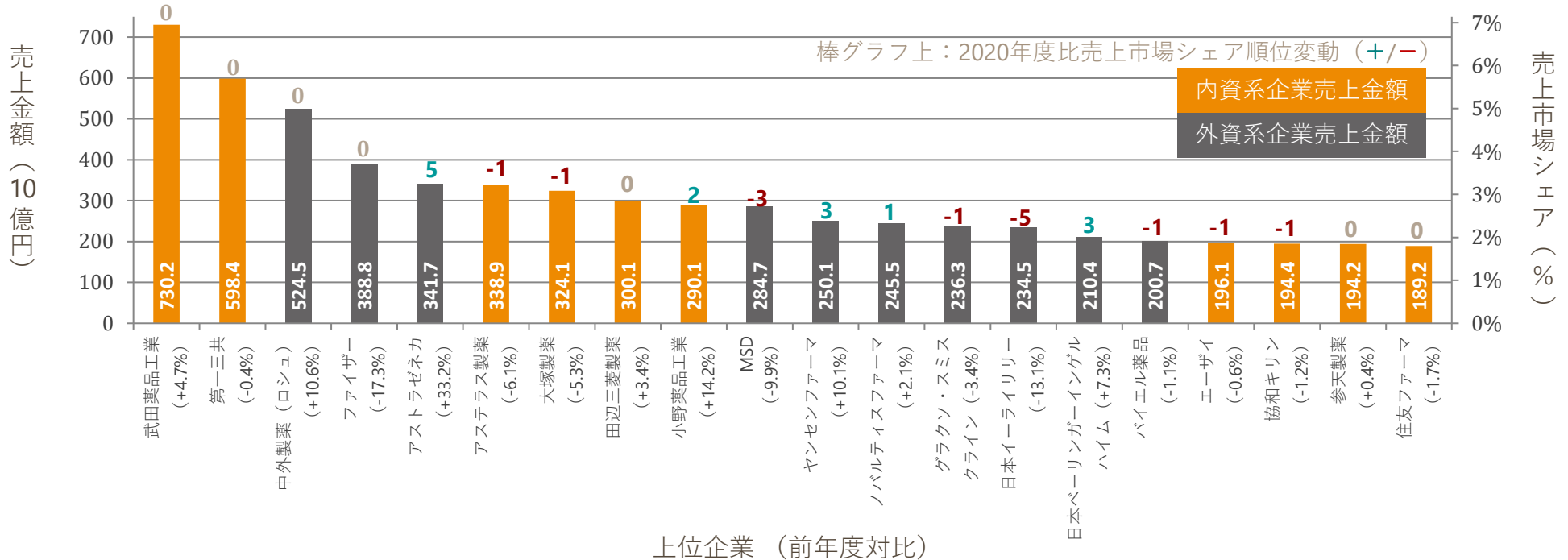
医療用医薬品売上上位20製品1、2



1. 同ブランドによる合計売上金額 (局所用剤を含む)
2. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連薬および再生医療等製品等は考慮しておりません。

- ・ 上位20製品の2021年度の総売上高は1兆6,690億円 (前年度比5.0%増)、医療用医薬品総売上高の16.5%を占めている。
- ・ バイオ医薬品の売上高は、上位20製品の総売上高の40.8%を占めている。2020年度と比較して7.3ポイントと大幅に増加しており、主因としては、次項に示すように新たにテセントリク、ステララ、およびシンボニーが上位20製品に入ったことが挙げられる。
- ・ 2021年度上位20製品に新たに加わった製品：テセントリク、ステララ、シンボニー、およびビンダケル
- ・ 2021年度上位20製品から外れた製品：リリカ (前年度比72.3%減)、サインバルタ (前年度比36.9%減)、レミケード (前年度比11.5%減)、ジャヌビア (前年度比4.3%減)。4製品中バイオ医薬品はレミケードのみ。

医療用医薬品売上上位20社^{1、2}



1. 販売承認企業による売上高
2. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連薬および再生医療等製品等は考慮しておりません。

- ・ 上位20社の2021年度の総売上高は6兆2,730億円（前年度比0.8%増）、医療用医薬品総売上高の62.2%（前年度比1.2ポイント減）を占めている。
- ・ 上位20社における内資系企業の売上高と外資系企業の売上高比率は、約53対47と2020年度と同じであった。上位20社における内資系企業の総売上高は3兆3,558億円（前年度比0.9%増）、外資系企業の総売上高は2兆9,172億円（前年度比0.7%増）であった。
- ・ 上位20社のうち7社の順位は変更がなかった。売上高は、上位20社中9社は増収、11社は減収であった。
- ・ アストラゼネカは5ランク順位を上げた。主因として、ネキシウムおよびシナジスの新たな売上寄与が考えられる。また、内資系企業では唯一、小野薬品工業が順位を上げており、これはフォーシーガおよびオプジーボの売上拡大によるものと考えられる。一方、日本イーライリリーは、サインバルタおよびアリムタの売上減少により、5ランク順位を下げた。MSDは3ランク順位を下げている。